

大発見！佐渡の魅力と笑顔あふれる修学旅行

6学年担任

6月12日(木)・13日(金)に、佐渡に修学旅行に行きました。1年生が願いを込めて作ってくれたお守りを持って出発。天候に恵まれ、ジェットfoilであつという間に佐渡に到着し、2日間の旅がスタートしました。

佐渡1日目は、「トキの森公園」「太鼓」「たらい舟」「西三川ゴールドパーク」です。まず、船を降りて最初に向かったのは、トキに会えるトキの森公園。トキを間近で見ることができました。太鼓体験では、他の小学校の6年生と合同で活動することになりました。見たこともないくらい大きな太鼓と大きなバチに驚き、そこから出る重厚感のある音に魅了されました。その後、たらい舟に乗り、一人一人が操舵しました。思うように進めず苦労している子どもがいる一方、コツをつかみ、すいすいと進むことができた子どももいました。西三川ゴールドパークでは、夢中になって砂金採りをしました。とった砂金はケースに入れて持ち帰りました。これも佐渡のお土産の一つになりました。宿泊先の八幡館では、広いお風呂でくつろぎ、食事は海鮮がたくさん出て、佐渡ならではの食材を堪能しました。

佐渡2日目は、「きらりうむ佐渡」「北沢浮遊選鉱場」「佐渡金山」と、佐渡金銀山に特化した日程です。きらりうむ佐渡では、佐渡金銀山全体の価値を映像やプロジェクトマップ、資料等で学ぶことができました。その後、東洋一の浮遊選鉱場跡や徳川幕府300年の財政を支えた金銀山跡を巡り、江戸時代から近代までの歴史を肌で感じるすることができました。

青くて穏やかな海や佐渡の自然、歴史文化をたくさん学び楽しんだ2日間でした。また、いろいろな場面でのあいさつや司会、感想発表など、全員が役割をもって臨んだ修学旅行は、子どもたちを大きく成長させてくれました。



笑顔と「ありがとう」がいっぱいの学校へ ～いじめ見逃しゼロの取組～

生活指導主任

6月は、いじめ見逃しゼロ強調月間でした。本校では、この期間にいじめアンケートや教育相談など実態をつかむ取組の他に、いじめの未然防止の観点からもさまざまな取組を行いました。特に、一人一人を大切にする学年1取組では、各学年でいじめを生まないために、日頃からどんな活動をしていけばよいのかを考え、一年間を通してする活動を話し合い、実施しています。ふわふわ言葉を使う、だれとでも挨拶をする、友達の良いところを伝え合う、優しい言い方をする、声を掛け合ったり助け合ったりする、相手の気持ちを考え相手の立場に立って行動をするなど、学年の発達段階に応じた内容で取り組んでいます。活動の様子は、体育館入り口に掲示されていますので、来校の際はご覧ください。

また、6月の児童朝会では、「いじめ見逃しゼロスクール集会」を行いました。各学年の取組を全校に紹介してもらい、その後、生活向上委員会の掛け声で、いじめ見逃しゼロ宣言をしました。みんなでいじめのない学校を作っていこうという気持ちを高めました。なかよしあすなろ班のみんなで力を合わせるゲームも行い、声を掛け合って楽しみました。

さらに、年間を通して異学年交流で感じたペアへの感謝の思いや良いと思った姿などをその都度カードに書き、言葉と気持ちを伝えながら交換していきます。それを各教室前に木に掲示してある「あすなろの木」に貼り、温かい気持ちで木を大きくしていきます。

全校で、いじめを許さない・いじめを見逃さないという意識をもって、みんなが笑顔で過ごせる燕東小にしていきます。毎日の仲間との関わりを大切にしていじめを生まないようにし、仮にいじめが起きたとしても、即時対応に全職員で努めていきます。何か気になること、ご心配なことがありましたら、いつでもお知らせください。

